

私の留学体験記

広島県立西条農業高等学校 2年 嶋田 憲士郎 (しまだ けんしろう)

留学期間 令和5年10月6日 ~ 令和5年10月17日 (12日間)

留学先 ラザロ・スパランツァーニ高校 (モデナ、イタリア)

私は10月7日から10月15日の9日間、イタリアで研修を行いました。

イタリア初日は、ボローニャの町を観光しました。レンガ造りの街並みがとても印象に残りました。2日目は、FICO Eataly world に行きました。FICO Eataly world は、食のテーマパークで、様々な店があります。この日からホームステイを開始しました。夕方、ホストファミリーが街を案内してくれました。教会など日本であまり見ないものを見ることが出来ました。翌日以降、本格的な研修が始まりました。

ボローニャ大学では、スマート農業に関する講義を受けました。ラザロ・スパランツァーニ高校モントンブラロ校では、蒸留所や農場を見学しました。先進農家の農場では、収穫したての林檎を食べました。とても甘く美味しかったです。そのほか、チーズ工房、有機農場、バルサミコ酢博物館、農機具企業などで研修を行いました。

有機農家の農場を見学した時に、ハウスの鉄骨の横にトマトが植えられ、鉄骨を支柱の代わりにしていました。沢山の作物を栽培するための、わずかなスペースも無駄にせず栽培するアイデアが印象に残りました。ラザロ・スパランツァーニ高校には水耕栽培用の施設があり、3校で共同研究されています。日本との共同研究もできるのではないかとおっしゃっていたので、西条農業でも取り入れてみたいと思いました。また、ラザロ・スパランツァーニ高校内の販売所の支払方法が現金以外にもスマホ決済などがあり、本校でも導入したいと思いました。

研修プログラム外では、ホストファミリーがレストランやショッピングモールに連れて行ってくれました。レストランは2回連れて行ってくれました。1回目は、ボローニャの伝統的なパンを食べました。ヌテッラというチョコレートを塗ったり、ハムや野菜を挟んだりして食べるそうです。2回目はタリアテッレというパスタを食べました。2回目のレストランはホストファミリーの友達も来て、とても賑やかな雰囲気でした。ショッピングモールには、日本の菓子や漫画、トレーディングカードもありました。

今回のイタリア研修を通して、私は日本とイタリアの農業や文化の違いを知ることが出来ました。農業の面では、栽培している品目や栽培方法、文化の面では、食べ物、食事の量や服装の違いが印象的でした。また、積極的にコミュニケーションをとることが難しかったです。英語で話すということに対してとても緊張しました。ホストファミリーを始めとする、通訳ガイドさんや先生方に感謝をし、この研修で学んだことを、今後の課題研究、進路先での活動、将来に活かしていきたいです。

